

36th TOKYO YMCA International Charity Run

第 36 回

東京 Y M C A インターナショナル・チャリティーラン

2022 年度 報告書



2022 年度は、新型コロナウイルス感染防止のために
携帯用アプリを活用して「ウォーキング大会」として開催しました

「らくらくウォーク」(2022 年 10 月 15 日 (土) ~ 10 月 22 日 (土))
「チー ム レース」(2022 年 10 月 22 日 (土) ~ 10 月 30 日 (日))

- 【参 加 者】 1,044 名
- 【総 歩 数】 107,976,364 歩
- 【総 距 離】 約 75,583km (大人 1 歩 70cm で換算)
- 【支援金総額】 4,774,512 円
- 【主 催】 公益財団法人東京 Y M C A
- 【共 催】 公益財団法人日本 Y M C A 同盟
- 【後 援】 内閣府、厚生労働省、スポーツ庁、全国社会福祉協議会、東京都、江東区
- 【協 力】 一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 在京ワイズメンズクラブ

東京 Y M C A インターナショナル・チャリティーラン事務局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18- 6F Tel:03-6278-9071
URL:<http://tokyo.ymca.or.jp/support/charityrun.html>
e-mail:kaiin@tokyoymca.org



大会実行委員長ごあいさつ



今年の大会も3年連続でオンラインの開催となりましたが、全国スポンサーである三菱商事様を始め多くの協賛企業様や団体様に協力いただき無事終了することができました。参加者数は、個人参加の「らくらくウォーク」を含め、延べ1,000名を超えました。参加チームは、協賛企業様に加え、幼稚園の保護者の方々のチームなど多彩で、また、協賛企業様のご支援により障がいのある子どもたちのチームも参加することができました。本当にありがとうございました。

この大会は東京YMCAで行っている障がいのある子どもたちが参加する水泳教室や野外活動など様々な活動を支援する目的で開催しています。コロナ禍であっても、多くの活動は感染対策に万全を期しながら継続しており、またコロナ禍で外に出かける機会が減少しているからこそ、こうした活動に対する期待の声が保護者からも寄せられています。また資金集めの目的に加えて、今回も障がいのある方々にも多数参加いただき、共に生きる喜びを参加者全員で分かち合うという目的も達成することができました。

今年の開催に際して、コロナ以前のように、みんなで一つの場所に集まって駅伝大会や子どもランなどを実施するリアルな開催を是非、とのお声もたくさんいただきました。来年の開催方法については、そうしたご意見も踏まえながら改めて検討していきたいと思っております。引き続きご協力ご協賛いただくとともに、1人でも多くの方々に再度ご参加いただけるようお願いを申し上げます。

東京YMCAはスタッフに加え、会員を中心とする多くのボランティアの方々に支えられて活動をしております。ぜひ1人でも多くの方に会員としてボランティアの輪に加わっていただきたくお願い申し上げ、ごあいさつの言葉と致します。ありがとうございました。

第36回インターナショナル・チャリティーラン実行委員長 上田 晶平

東京YMCA 総主事より御礼

1986年の初回から数えて36回目となる「東京YMCA インターナショナル・チャリティーラン」が今年も無事開催されました。ご支援・ご協賛いただきました企業、団体の皆様、個人で参加された皆様、ボランティアとして関わってくださった皆様に心よりお礼を申し上げます。

コロナの感染者数も減少傾向にあり、生活上の制約も徐々に緩められている昨今ではありますが、皆様に安心してご参加いただくことを第一に、今年もスマホアプリを使った、場所を選ばずご自身のペースで参加できるウォーキングイベントとして開催致しました。今年初めて参加された企業・団体・個人の方も多数おられ、障がいのある子どもたちを支援する輪が広がっていることを実感し大変嬉しく思います。また大きな怪我や事故もなく無事終えられたことは、皆様の適切な安全への配慮とご協力のおかげであり、深く感謝申し上げます。

チームレースの初日で個人レースの最終日の10月22日には、2019年まで集合して開催した会場である都立木場公園内に、記念撮影ができる「フォトスポット」を設けました。チームメンバー同士待ち合わせて来られた方、ご家族で遊びに来てくれた方、ウォーキング途中にお立ち寄りいただいた方など、参加者とスタッフが直接顔を合わせて交流できましたことを嬉しく思います。ご寄付いただいた益金は全額YMCAの障がい児・者プログラムのために大切に使用させていただきます。今後ともチャリティーランならびに東京YMCAへのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



東京YMCA総主事 菅谷 淳

インターナショナル・チャリティーラン 2022 イベント

らくらくウォーク

【期 間】10月15日(土)～10月22日(土) 8日間

【対 象】個人

【参加者数】373名

【総歩数】28,240,580歩

【総距離】約19,768km(1歩70cmで換算)

チーム参加はできなくても、「障がいのある方を支えたい」との趣旨にご賛同いただいた方の、個人参加イベントとして開催しました。順位は競わずマイペースで歩いてもらい、その様子や景色など写真投稿のお願いもしました。都内に限らず地方や海外から参加してくださる方もいました。投稿された写真は東京YMCA公式SNSで紹介し、写真を通して、色々な場所の景色も楽しむことができました。

最終日には、木場公園に設置したフォトスポットに立ち寄って下さる方もいて、わずかな時間ではありましたが、直接顔を合わせる貴重な機会になりました。



チームレース

【期 間】10月22日(土)～10月30日(日) 9日間

【対 象】企業・団体などのチーム(1チーム6～20名)

【参加者数】46チーム / 671人

【総歩数】79,735,784歩

【総距離】約55,815km(1歩70cmで換算)

新型コロナウイルス感染防止のため、それぞれの場で自由に歩き、スマホアプリを使用してチームの平均歩数を競うウォーキング大会としました。

この方法でのレースも今回で3回目となり、ウォーキングイベントを行うチームも多くあり、このチャリティーランをきっかけに、「歩く楽しみ」もたくさん見つけられたようでした。らくらくウォーク同様に、写真投稿によりSNSを活用して、チームを超えて期間中の様子を紹介しあうこともできました。

「チームレース」と「らくらくウォーク」で歩いた距離を合わせると、約地球1.9周分となりました。

レース結果

順位	1日の 平均歩数	チーム名	人数	企業・団体・スポンサー名
1	36,294	室町A D E U 1	6	上田八木短資株式会社
2	27,615	ファイヤーレッド	18	しののめ YMCA こども園
3	27,034	我走る、故に我在り	10	カーギルジャパン合同会社
4	22,523	東京ワイズメンズクラブ	6	東京ワイズメンズクラブ
5	20,996	山手 70 Mountain Hand-1	19	山手コミュニティセンター（協賛：東京西／東京サンライズワイズ メンズクラブ／東京たんぽぽY サービスクラブ／山手学会後援会）
6	19,560	Wolf Pack	11	Tokyo YMCA International School/Kids Garden
7	17,776	OPRO	17	端数倶楽部
8	17,465	イエローガンバース	20	しののめ YMCA こども園
9	17,260	エンジンもモーターもないけど今年も頑張るぞ！	11	三菱商事株式会社
10	17,112	スマイリーピンク	20	しののめ YMCA こども園
11	14,885	DREAM クラスチーム	18	三菱商事株式会社
12	14,854	江東バス1号車ぶどうバス	20	東京 YMCA 江東コミュニティセンター／江東 YMCA 幼稚園 ／東京江東ワイズメンズクラブ
13	14,734	MC Internal Auditors	15	三菱商事株式会社
14	14,706	Furry Friends	11	Tokyo YMCA International School/Kids Garden
15	14,472	T E A M東陽町	20	東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター（協賛：東京むかで／東京 グリーン／東京北／東京ひがしワイズメンズクラブ）
16	13,951	室町A D E U 2	9	上田八木短資株式会社
17	13,626	チームアゲアゲ☆歩入魂	10	カーギルジャパン合同会社
18	13,577	江東バス3号車さんまバス	20	上田八木短資株式会社
19	13,284	ステート・ストリート・ジャパン	16	ステート・ストリート・ジャパン
20	12,628	山手 70 Mountain Hand-2	10	山手コミュニティセンター（協賛：東京西／東京サンライズワイズ メンズクラブ／東京たんぽぽY サービスクラブ／山手学会後援会）
21	12,594	30000 番台	20	端数倶楽部
22	12,312	Moon Howlers	13	Tokyo YMCA International School/Kids Garden
23	11,510	～走ルンです！～	12	端数倶楽部
24	11,486	～それ行け！ Get the chance!!～	9	端数倶楽部
25	11,261	DREAM AS ONE-PQ	14	三菱商事株式会社
26	11,105	岡谷エレクトロニクス	6	岡谷エレクトロニクス株式会社
27	10,832	山手 70 歩数と共にあらんことを	20	東京 YMCA 高等学院（協賛：岡谷エレクトロニクス株式会社）
28	10,797	にほんご学院 with 岡谷エレクトロニクス	7	東京 YMCA にほんご学院（協賛：岡谷エレクトロニクス株式会社）

レース結果

順位	1日の平均歩数	チーム名	人数	企業・団体・スポンサー名
29	10,758	江東バス 2 号車まつたけバス	20	東京 YMCA 江東コミュニティーセンター／江東 YMCA 幼稚園／東京江東ワイズメンズクラブ
30	10,756	ロジ走かい 2022	7	三菱商事株式会社
31	10,665	役員・評議員・本部職員チーム	20	東京 YMCA 本部事務局
32	10,632	トロピカルフィッシュ	20	東京 YMCA ウェルネス東陽町（協賛：東京北／東京グリーンワイズメンズクラブ）
33	10,471	国際ビルの 18 人（一部在宅）	18	カーギルジャパン合同会社
34	10,306	社体保	20	東京 YMCA 社会体育・保育専門学校
35	10,231	高尾の森わくわくビレッジ合同チーム	20	高尾の森わくわくビレッジ（協賛：YMサービス株式会社／八王子ワイズメンズクラブ）
36	10,203	チーム賛育会	11	社会福祉法人賛育会
37	10,202	チームどんどん	18	カーギルジャパン合同会社
38	10,180	チャミ会	13	三菱商事株式会社
39	10,057	Teru Teru Bozu 2022	10	三菱商事株式会社
40	9,749	山手 70 高等学院のみんなでがんばります！	20	東京 YMCA 高等学院（協賛：上田八木短資株式会社）
41	9,227	Go ! 中東・アフリカ + DGMME	9	三菱商事株式会社
42	9,220	山手 70 東京 YMCA 国際ホテル専門学校	20	東京 YMCA 国際ホテル専門学校
43	9,216	DREAM AS ONE-MCC	20	三菱商事株式会社
44	9,142	チーム世田谷	20	東京 YMCA 南コミュニティーセンター（協賛：東京世田谷ワイズメンズクラブ）
45	7,895	o9ers (オーナイナーズ)	8	o9solutions Japan KK/o9 ソリューションズジャパン株式会社
46	7,387	S D G s	17	カーギルジャパン合同会社

賞 名	チーム名	企業・団体・スポンサー名
最年長チーム賞	東京ワイズメンズクラブ	東京ワイズメンズクラブ
36 回大会賞 (36 位)	チーム賛育会	社会福祉法人賛育会
Instagram 「いいね！」賞	東京 YMCA 高等学院 2 チーム	東京 YMCA 高等学院（協賛：岡谷エレクトロニクス株式会社 / 上田八木短資株式会社）
チームワーク賞	o9ers (オーナイナーズ)	o9solutions Japan KK/o9 ソリューションズジャパン株式会社
DREAM AS ONE 賞 (三菱商事賞)	トロピカルフィッシュ	東京 YMCA ウェルネス東陽町（協賛：東京北ワイズメンズクラブ／東京グリーンワイズメンズクラブ）

チーム紹介



三菱商事株式会社

チーム名：「DREAM AS ONE. MCC」ほか全 8 チーム

各自でウォーキングを楽しむほか、チームでイベントを開催しました。写真は朝の皇居ラン&ウォーキング参加の際のもので、ほかにも夜の皇居ラン&ウォーキング、鎌倉登山などを実施して、コミュニケーションを深めました。他のチームでは 10 年前に同じ部署だった人達でチームを結成するなど、コミュニケーションの良ききっかけになったようです。



株式会社カーギルジャパン

チーム名：「我走る、故に我在り」ほか全 5 チーム

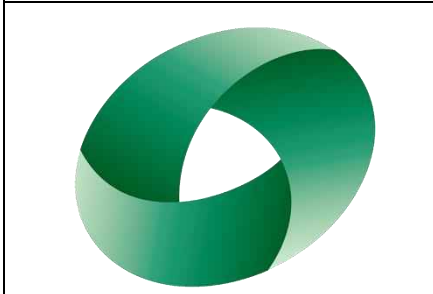
今年は選抜チームが 3 位に入賞！他のチームも仲間の頑張りが良い刺激となって、楽しく頑張れました。期間中は各メンバーが自由に写真やコメントを投稿しあったり、出社勤務時のランチタイムに皇居周辺のウォーキングを一緒にしたりして楽しみました。それぞれが充実した 9 日間を過ごすことができ、チャリティーにもつながるところがチャリティーランの大きな魅力ですね！今年もどうもありがとうございました。



端数倶楽部

チーム名：「～走るんです～」ほか全 4 チーム

端数倶楽部（富士フィルムビジネスイノベーション株式会社）の、運営委員と会員で構成されています。端数倶楽部は、自然保護、福祉活動、被災地での復興支援や海外への支援等、様々な分野でボランティア活動を行っています。現在も定期的にオンライン会議を行い、社会貢献活動ができるようにメンバーで様々な方法を模索しています。チャリティーランもその活動の一つとして、今年も秋空のもと期間中は気持ちよく歩きました。



上田八木短資株式会社

チーム名：「室町 ADEU1」ほか全 2 チーム

当社では連覇を目指す「室町 ADEU1」、参加することに意義がある「室町 ADEU2」の 2 チームで参加を致しました。ADEU1 は、メンバーがグループ LINE で叱咤激励？しながら、目標であった連覇を達成！！また、ADEU2 では初参加の方も含め、メンバー同士で励まし合いながら、各自が設定した目標へ向かって歩くことができました。



岡谷エレクトロニクス株式会社

チーム名：「OEC」

社内公募により「我こそは！」と名乗りを上げたメンバーが集まったチームです。勤務地は宇都宮から大阪まで、年齢はアラフィフから新卒まで、スポーツ経験者から観戦専門までかなり幅広いメンバーでしたが、毎日コツコツ、目標の半歩先、一歩先のゴールを目指し、時にはリモートで声を掛け合い、励まし合いながら最終日までやり抜きました！



ステート・ストリート・ジャパン

チーム名：「ステート・ストリート・ジャパン」

9 日間、残念ながら、全員で集まって一緒に歩くという活動はできませんでしたが。それでも、アプリを通して、チームメンバー同士の歩数を確認し、ライバル心を燃やしたり、励まし合ったりしながら、楽しく活動させていただきました。障がいのある子どもたちの支援という目的をもって、社員のつながりを深めるとてもいい機会をいただきました。また来年の大会も楽しみにしております。

チーム紹介



社会福祉法人賛育会

チーム名：「チーム賛育会」

はじめて参加させていただきました。チームで集合して走ったり、歩いたりすることはできませんでしたが、アプリを見ながらお互い切磋琢磨し、日ごろの運動不足解消になりました。今回 36 位でしたが、チャリティーラン開催の回数と同じということで賞をいただきました。次回は上位を目指したいと思えます。ありがとうございました。



09 ソリューションズジャパン株式会社

チーム名：「09ers」

部署が全く違うメンバーが集まったので、木場公園で集まった際には他部署との交流・ディスカッションができたのはとても良かったです。基本的にはみなりモトワークなので、その後の日常の中で一緒に歩くことができなかったことや、それぞれが時間を取って歩くことが難しかったこともありますが、今回参加したことにはとても意味があったので満足です。



《協賛：YMサービス株式会社/八王子ワイズメンズクラブ》

高尾の森わくわくビレッジ

チーム名：「高尾の森わくわくビレッジ合同チーム」

3 回目の参加となります。今回東京八王子ワイズメンズクラブより補助をいただき参加することになりました。八王子ワイズの方やリーダーたちもチームに加わり 20 名の選手が参加しました。期間中は施設内で何位になったとか、誰に負けているとかという話が出てきて、職場に潤いが生まれました。普段なかなか顔を合わせない人たちと、つながりが少し持てたかなと感じています。



東京ワイズメンズクラブ

チーム名：「東京ワイズメンズクラブ」

かつてはずっと寄付だけをしていましたが、ある年から「走って参加しようじゃないか！」となり、ランナーを出して参加するようになりました。今年は第 4 位と検討し、さらに特別賞の「最年長チーム賞」も受賞しました。今年は年も重ねましたが、歩数もたくさん重ねることが出来ました。



《 協賛：三菱商事株式会社 》

東京YMCA ウェルネス東陽町

チーム名：「DREAM クラスチーム」

月に 1 度行われている、障がいのある子どもたちのスポーツ体験クラス「DREAM クラス」には、三菱商事のボランティア、YMCA のスタッフ、学生リーダー、など様々な人たちが関わりを持ち、子どもたちとの運動タイムを楽しんでいます。毎月のクラスへの参加が難しい方もいますが、期間中はオンラインで繋がりを感じつつ楽しみました。今年は、「マイペースをモットーに」という目標を掲げ、みんなで頑張って 11 位となりました。



東京YMCA 江東コミュニティーセンター

江東YMCA 幼稚園・東京江東ワイズメンズクラブ

チーム名：「江東バス マツタケ」ほか全 3 チーム

今年度は秋の味覚収穫バスツアーに見立てて行いました。3 チームそれぞれ保護者の方にバスガイド兼隊長を担っていただきました。大会期間中のイベントとして木場公園に集まりクイズを解きながら進んでいくナイトウォークを行いました。館内掲示として、歩数に応じて秋の味覚に扮した江東センター職員紹介が増えていきました。掲示を通してランナー以外の方も含め、江東センターみんなで楽しむことができました。

チーム紹介

	しののめYMCAこども園 チーム名：「ファイターズ」ほか全 3 チーム しののめYMCAこども園の保護者と職員に募集して集まったチームです。今年はお揃いTシャツとチームごとの缶バッジを作り、独自に開会イベントも開催して園全体で志気を高めて大会に臨みました。その甲斐もあり、今年は3チームともに上位入賞を果たすことができ、保護者・職員ともに大満足な大会となりました。
	《協賛：東京世田谷ワイズメンズクラブ》 東京YMCA南コミュニティーセンター チーム名：「チーム世田谷」 南センターに関わる仲間たちの混合チームで、世田谷ワイズ、定例野外のボランティアリーダー、libyメンバー、スタッフで歩きました。普段なかなか会えない仲間を画面上で認識できたのはモチベーションに繋がりました。期間中に、libyでは小湊鐵道を見に行ったり、リーダーたちは芦花公園から南センターまで約3.6キロを歩く企画を含む交流会も行いました。
	《協賛：東京むかで／東京グリーン／東京北／東京ひがしワイズメンズクラブ》 東京YMCA東陽町コミュニティーセンター チーム名：「TEAM 東陽町」 大学生からシニアまで幅広い年齢層のチームでした。若者に負けまいと追いつき、追い越し、追い越されという日々でしたが、みなさん頑張って歩いていました。年々レベルが上がり、異常な歩数となっていますが、ランキング内に留まるよう頑張っていました。
	《協賛：東京西／東京サンライズワイズメンズクラブ／東京たんぽぽYサービスクラブ／山手学舎後援会》 東京YMCA山手コミュニティーセンター チーム名：「山手 70 Mountain Hand」ほか全 2 チーム 山手センター会員、山手学舎の舎生、ボランティアリーダー、ワイズメンズクラブ、スタッフが集い、2チームで参加しました。期間中は、「どこまで歩いた？」と会話が弾みました。数時間かけて徒歩で帰宅するスタッフも続出！お互いの歩数を気にしながら、チーム内でも「負けまいぞ！」と切磋琢磨し、普段より断然歩いた9日間になりました。
	《協賛：東京北／東京グリーンワイズメンズクラブ》 東京YMCAウエルネス東陽町 チーム名：「トロピカルフィッシュ」 ウエルネス東陽町に通う障がい児・者を対象にしたクラスのメンバーとその保護者、クラスのリーダー・スタッフでチームを構成。一つの事を根気よく続けることが苦手なメンバーも多い中、それぞれのペースで歩数を増やせるように頑張りました。東陽町センター内では関東地方一周を目標にしたボードも作成。来館するたびにチームとしてどこまで進んだかと、興味を持ってくれたのも印象的でした。
	東京YMCAインターナショナルスクール (TYIS) チーム名：「Wolf Pack」ほか全 3 チーム TYISに通う生徒の保護者と職員で、3チームを構成して参加しました。参加にあたっては、保護者主催でバザーを開催。大会趣旨をアピールしながら、サイズアウトした制服などを販売して参加費を捻出しました。大会に直接参加をしなくても、学校全体にこの大会の主旨が伝わったことが大きな成果です。

チーム紹介



東京YMC A国際ホテル専門学校

チーム名：「東京YMC A国際ホテル専門学校」

ホテル学校はSDGs委員会（学生）と教務課スタッフのチームで参加しました。若い学生に負けじと、校長をはじめアラフィフメンバーが奮起し、チームを鼓舞しておりました。今年は例年よりも団結力が高く、レースを楽しみながら参加できたように感じております。チャリランを楽しみにしている学生も多くいるので、来年も開催されますよう祈っております。



東京YMC A社会体育・保育専門学校

チーム名：「社体保」

体育科・保育科のクラス代表と教職員の選抜ドリームチームを結成！学生たちは登下校時を上手く活用したり、実習の合間を縫って歩数を増やしたりと、チーム内での順位も競いながら楽しく参加しました！また、校内での掲示や映像によって、大会中のランキングや様子を他の学生へも知らせることで、大会の意義について全学生へ広める機会とすることも意識しました。



《協賛：岡谷エレクトロニクス株式会社/上田八木短資株式会社》

東京YMC A高等学院

チーム名：「歩数と共にあらんことを」ほか全2チーム

通信制高校の生徒、卒業生、保護者、教職員など40名で2チームを結成しました。初日に高田馬場から木場公園まで歩いたのを皮切りに、放課後には高等学院のある西早稲田エリアを散策したり、電車でお出かけした先で歩いたりしました。参加したメンバーは、みんなでお出かけすることや、職員と競うことなど、それぞれの楽しみ方で過ごしました。



《協賛：岡谷エレクトロニクス株式会社》

東京YMC Aにほんご学院

チーム名：「にほんご学院 with 岡谷エレクトロニクス」

9か国17名の留学生と3名の教員による合計20名で参加しました。学内では前日のチーム順位表を貼り出し、お互いに「今日も元気に歩こう！」と声を掛け合い、またクラスメイトの応援を受けて、時には歩数を競い合いながら、仲間たちと共にレース期間を楽しんで歩くことができました。岡谷エレクトロニクス株式会社の皆さまへ、心より御礼申し上げます。



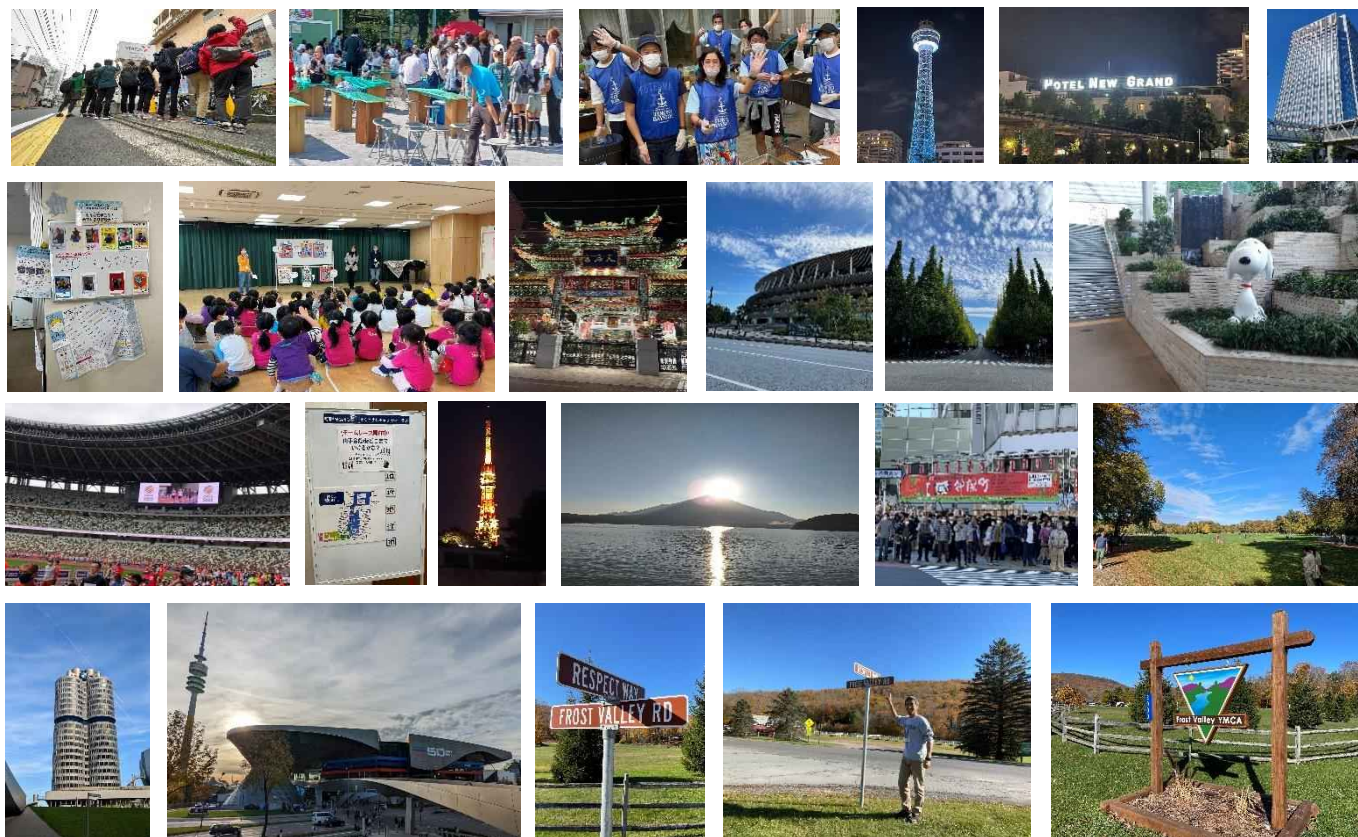
東京YMC A本部事務局

チーム名：「役員・評議員・本部職員チーム」

東京YMC Aの役員、評議員、本部職員で構成されたチームです。期間中はバスに乗らず歩く時間を増やしたり、休みの日には朝から夕方まで気の向くまま、とにかくひたすら歩いたり…。アプリ内でチームメンバーの様子を気にしながら、それぞれのペースで歩いた9日間でした。

フォトギャラリー ～開催期間中の様子や訪れた場所など～

開催期間中に届いた写真の数々。秋空の爽やかな空気や、チームの結束が強まる様子や、海外の街並みなどが伝わってきて、それぞれの場所で楽しんでいただいた感じが感じられました。



フォトスポット（都立木場公園）

らくらくウォーク最終日、そしてチームレース初日の10月22日、木場公園にフォトスポットを設けました。25組70名の皆さんがお越しくださいました！ たくさんの笑顔をお見受けしました。



36th Tokyo YMCA International Charity Run Sponsors



三菱商事 パラスポーツプロジェクトでは、
障がい児向けスポーツ教室 DREAM クラスを東京 YMCA と協働で開催しています。

DREAM AS ONE.

 Mitsubishi Corporation



カーギルジャパンは、1956 年創業以来、日本市場において農産物を中心とした商品の輸出入、国内販売及び代理店業務をおこなっております。カーギルの従業員は、「安全で、責任のある、持続可能な方法で世界を豊かにする」という目標達成に向けて日々たゆまぬ努力を続けています。



上田八木短資株式会社

36th Tokyo YMCA International Charity Run Sponsors



端数倶楽部



岡谷エレクトロニクス株式会社

STATE STREET®

× 40 YEARS IN APAC ×



一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会

東日本区・在京ワイズメンズクラブ

東京 東京江東 東京むかで 東京世田谷 東京グリーン 東京西 東京北 東京武蔵野多摩
東京ひがし 東京サンライズ 東京八王子 東京町田コスモス 東京たんぼぼYサービスクラブ
東京センテニアル 東京ベイサイド 東京多摩みなみ 東京町田スマイリング



江東YMCA

仲間がいるから挑戦できる

学校法人東京YMCA学院 江東YMCA幼稚園

東京YMCA江東コミュニティーセンター

東京江東ワイズメンズクラブ

<http://tokyo.ymca.or.jp/kindergarten/> TEL.03-3645-7171



36th Tokyo YMCA International Charity Run Sponsors



▽ Y M サービス株式会社



Tokyo YMCA International School

Address : 2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan 135-0016

Email : tyis@tokyoymca.org Phone : 81-3-3615-5632

<http://tokyo.ymca.or.jp/tyis/index.php>

しののめYMCAこども園 おひさま会

約 300 人の園児と保護者の募金によって今年は 3 チーム参加。
お父さんお母さん、園児と先生たち、みんなで歩きました。
チャリティーランが何のために開催されているのかを知り、
みんなで仲良く過ごすために、どうするか考える機会をもちました。



東京YMCA東陽町コミュニティーセンター
東京YMCA山手コミュニティーセンター
東京YMCA南コミュニティーセンター
東京YMCAオープンスペース liby

東京YMCA社会体育・保育専門学校
東京YMCA国際ホテル専門学校
東京YMCAにほんご学院
東京YMCA高等学院
東京YMCAウエルネス東陽町
東京YMCA本部事務局

Prize Sponsors



株式会社
恵 愛

Supporting Sponsors



支援プログラムの報告

2022 年東京 YMCA インターナショナル・チャリティーラン支援金総額

4,774,512円

ご支援ありがとうございました。

皆様からお預かりしました支援金はYMCAが行う以下の活動に用いさせていただきます。

- ① 支援を必要とする障がい児・者プログラム活動費補助
- ② 障がい児・者プログラム支援者育成費

大会の益金を用いて実施したプログラムのいくつかをご紹介します。

障がい児野外活動

東京YMCA野外教育部
「シャボン玉」担当 杉田 裕樹



「シャボン玉」は知的障がいのある子どもたちを対象に月に1度、仲間やボランティアリーダーと共に、公園でのレクリエーションや街の散策などを楽しむ活動です。自然や仲間たちと触れ合うことで、心や日常の生活が豊かになることを

を願い活動をしています。ボランティアリーダーがマンツーマンの体制で子どもたちと共に過ごすことで、一人ひとりの特性に対応することができます。ボランティアリーダーにとっても障がいの理解を深め、視野を広げるきっかけになっています。チャリティーランの支援金を利用して2022年6月に鴨川シーワールド、2023年1月に横浜こどもの国へのバスハイクを実施しました。参加した子どもたちは、コロナ禍で行動制限が多い状況の中で、バスで遠出ができたことでいつも以上に楽しみ、終始笑顔で過ごすことができました。



放課後等デイサービス

東京YMCA PIT 西早稲田
管理者 大津 桃子

PIT 西早稲田は、水泳療育とライフスキルを身につけるための放課後等デイサービスです。放課後に障がいのある子どもたちとその家族が安心して過ごせるように、日々、きめ細やかな運営を心がけています。子どもたちは、水泳クラス前に教室でボードゲームのルールを覚えながら実際に友だちと対戦したり、指先を多く使う遊びや工作を行ったりと、遊びの中で楽しんで療育に励んでいます。特に

友だちとの関係性を築いていく部分では、スタッフとボランティアが子どもたちの輪に同世代の友達のように入り、思うようにいかなかった場面や感情的になってしまった場合の対応方法をタイミングよく伝え、一緒に考えています。水泳では、身体をたっぷり動かすことを大切に練習に励んでいます。開設から4年間通い続けたことで、泳げなかったお子さんがクロール・背泳ぎを習得したり、4年かけて浮けるようになったり歩みはそれぞれですが、「できるようになった」を家族で実感し、喜びを共有することで子どもたちは自信をつけてきています。皆さまからのご支援が、子どもたちの成長につながることを願って、これからも活動を続けて参ります。



知的障がい者選手権水泳競技大会

東京YMCA社会体育・保育専門学校
校長 山梨 雄一

主に一般社団法人日本知的障害者水泳連盟主催の水泳競技会運営に関わる補助役員として、年間述べ90名ほどの学生を派遣。水泳を専門としているコース生以外の学生も多数参加を希望しており、事前に研修などを実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、この数年は大会参加者もやや減少していた

ところ、1月実施の水泳競技大会には久しぶりに300名を超える選手が集い、日頃の練習の成果として大会レコードも多数更新されました。同大会イベントへの参加選手のサポートを行う中で、障がい児・者への理解を深めるとともに、社会の中で必要とされる「心」を育てる活動となりました。



<2022 年度参加大会>

- 第25回日本知的障害者選手権水泳競技大会（7/24 横浜国際プール）
- 第25回日本知的障害者選手権(25m)水泳競技大会（11/27 立教大学）
- World Para Swimming 公認 2022 ジャパンパラ水泳競技大会（9/17-19 横浜国際プール）
- 第6回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会（1/9 千葉県国際総合水泳場）

●子どもの育ちを考える オンライン講演会



- ・11月26日（土）開催
【講師】田中哲先生（児童精神科医）
【視聴者】200名以上

●特別支援 短期水泳クラス



- ・知的障がい、発達障がいのある小学生を対象に、冬休みの短期水泳教室を実施しました。

●オープンスペース liby



- ・不登校や生きづらさを抱える青少年の居場所として、ここでは自分らしさを大切にして、過ごしています。

●あっとY

- ・不登校の中学生を対象としています。家族や学校以外の人たちとの関りも大切にしたい居場所として、2022年10月より立ち上げました。



大会参加者からの声

- ・初参加でどうなるかと思いましたが、アプリ上ではありますが団結して取り組めたかなと思っています。
- ・チーム戦なのですが、自分のチーム内順位とチームへの貢献度が分かるので、やる気になりました。
- ・ユニーク賞が減ったのが残念だった。順位を争うことが目的になりすぎないか、少し心配な部分がある。
- ・期間中は歩くのが最優先で、他の事は後回しになったりしましたが、筋力が少しいた気がします。このまま続ければ良いのですが...
- ・初日に所属団体にてイベントがあり、がんばろうという気持ちが高まりました。
- ・今回は社内のメンバーを取りまとめる裏方と、自身も参加をしたので苦労もあったが、とても充実しました！
- ・期間中は天気もよく、良いウォーキング日和になったし、去年よりは会社に出社していたので、仲間とって作戦を立てたりして楽しかったです。
- ・普段なかなか歩かないので、こういう機会に意識的に歩くことができて良かった。
- ・駅伝大会に戻ったとしても、普段ウォーキングしている人が参加できるようなレースもあった方がいいと思う。
- ・何か目的を持って事柄に取り組む楽しさを思い出せたと思います！普段あまり接点のない人とも共通の話題で会話が增えました。
- ・とにかくメンバーの頑張りが凄くて、いい刺激になりました！代表者ミーティングにも参加させていただき、他のチームの方の色々な意見を聞いたのも良かった！
- ・一日数万歩も歩いている方の体験記など、他の方がどのような活動をしているか公開してほしい。
- ・前半にあまり積極的に歩いていなかった生徒たちが最後の2日で盛り返し、最終日は抜きつ抜かれつのデッドヒートで面白かった。期間が長いと、どこでスイッチが入るかわからないのも楽しかった。
- ・らくらくウォークが始まる前日、いつもより沢山歩き、筋肉痛になり、こんなんで大丈夫か心配になりましたが、期間中は痛い所もなく去年よりたくさん歩くことができて満足しています。

参加・協賛いただいた企業・団体

【全国協賛】

三菱商事株式会社

【参加・協賛】

マテル・インターナショナル株式会社

デサントジャパン株式会社

特定非営利活動法人 アンリーシュ・ポテンシャル

カーギルジャパン合同会社

端数倶楽部

上田八木短資株式会社

岡谷エレクトロニクス株式会社

ステート・ストリート・ジャパン

社会福祉法人賛育会

09 ソリューションズジャパン株式会社

イオン株式会社

株式会社恵愛

YMサービス株式会社

一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会
東日本区 在京ワイズメンズクラブ

しののめYMCAこども園

江東YMCA幼稚園

／東京YMCA江東コミュニティーセンター

東京YMCAインターナショナルスクール (TYIS)

東京YMCA国際ホテル専門学校

東京YMCA社会体育・保育専門学校

東京YMCAにほんご学院

東京YMCAオープンスペース liby

東京YMCA高等学院

東京YMCA山手コミュニティーセンター

東京YMCA南コミュニティーセンター

東京YMCA東陽町コミュニティーセンター

東京YMCAウエルネス東陽町

東京YMCA本部事務局



皆さまのご支援に心から感謝します

企業、団体、個人の皆さまより、チームスポンサー、運営スポンサーとしてのご寄付の他に、たくさんの物品協賛もいただきました。スポーツ用品、日用品、衛生用品、玩具、文房具などを、チームレース入賞賞品やららくらくウォーク抽選賞品として、参加者の皆さまにお贈りしました。ご支援ありがとうございました。